

第2回 水稻病虫害発生予察情報 平成29年7月12日

今回の調査では、病気の発生はほとんどなく、ウンカ類が少し見受けられる程度でした。一部圃場では藻の発生がありました。藻やガス湧きがひどいと、分げつ抑制や根傷みの原因となりますので、一旦落水しましょう。また、今後の天候によりいもち病の発生が懸念されますので注意して圃場を観察してください。

7月に入り、連日平年より高い気温が続いており、向こう1ヶ月の気温は、平年と比べて高温であると予想されています。天候に応じて、高温障害対策を行いましょ

適切な中干し、穂肥を行いましょ！

栽培暦（冊子）のP2参照

高温・多照 の場合は、背白・基部未熟対策を！

中干しを短縮し、穂肥をやや遅らせ量を増やし、出穂1週間以降は水をかけ流し水温を下げるなどの対策をとりましょ。

高温・日照不足・多雨 の場合は、乳白対策を！

もみ数を減らすため、中干しを強めに行いましょ。
また穂肥をやや遅らせましょ。



穂肥の施用 もみ数の確保と退化を防ぐために実施ましょ。

稲の生育状況、葉色をよく観察し、施用量を加減ましょ。

省力体系肥料の場合も施用が必要な場合があります。

穂肥の時期

コシヒカリ 出穂18日前

きぬむすめ・ヒノヒカリ・あきだわら 出穂20日前に

※出穂後の施用は食味を低下させるので注意！

カメムシ類対策 ～早期コシヒカリは草刈りの時期が大切！～

●出穂2週間前までに、水田周辺のイネ科雑草の草刈りを完了！

時期が遅れると乳熟期にカメムシ類を田んぼへ追い込んでましょので注意！！

●カメムシ類を誘引する本田のノビエは早めに徹底的に除草ましょ。

●出穂後5～10日頃、スタークル粒剤（3kg/10a）もしくは

スタークル豆つぶ（250g/10a）で防除ましょ。

出穂前後の水管理が大切です！！

中干し後の水管理は間断灌水で、根の活力を維持ましょ。穂が出る1週間前から穂が出て1週間後までは湛水状態を保ち、以降はもみを充実させるため間断灌水を行いましょ。

調査機関：神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・JA兵庫六甲

発行：JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

次回調査は8月9日（水）です。

☆水稻栽培日誌の記帳を行いましょ！

第3回 水稻病害虫発生予察情報 平成29年7月28日

7月26日、第3回水稻病害虫発生予察調査を実施しました。

今回の調査では、カメムシ類、ウンカ類などの害虫が見受けられました。適期のカメムシ類対策を行いましょ。また、紋枯病、いもち病の発生が若干みられました。紋枯病は、高温、多湿時に蔓延します。今後の天候次第で広がる可能性がありますので、ほ場をよく観察し、紋枯病の対策を行いましょ。

紋枯病対策

株元から上位葉鞘に病斑が上がり始める頃が予防適期です！

出穂30～10日前に、**モンカット粒剤** (3～4kg/10a) を散布しましょ！

.....
紋枯病は稲の茎が弱くなり、倒伏の原因となります。上位葉まで病斑が広がると、収量や品質に大きく影響します。

特に昨年、紋枯病が多発した圃場では、菌が越冬するため注意が必要です。

昨年、多発した圃場では圃場に入って株元を観察しましょ！

カメムシ類対策 畦畔の草刈を行いましょ！

.....
出穂14日前までに草刈を行いましょ！14日前以降に草刈をすると、カメムシ類が圃場内に飛び込んでしまいましょ！！

カメムシ類を誘引する本田のヒエは徹底的に除草しましょ。

出穂後5～10日頃、

スタークル粒剤 (3kg/10a) もしくは

スタークル豆つぶ (250g/10a) を散布しましょ！

カメムシ類が穂を吸汁すると斑点米となる恐れがあり、斑点米は等級落ちの原因となります。

.....
粒剤と豆つぶでは、水管理が異なります。粒剤は、ひたひた水～3cm程度で散布。水をためすぎた状態では薬の効果が薄まります。豆つぶは、水深3～5cm程度で散布。いずれも散布後4～5日は止水を行ってください。

出穂前後の水管理

- ①出穂1カ月前には、中干しを終わらせましょ！
- ②中干し後は、間断灌水を行い、根に酸素を供給しましょ！
- ③出穂前後（出穂前1週間～出穂後1週間）は稲が水を必要とするので、たん水管理をしましょ！



早期落水は未熟粒・死米・乳白・胴割れの原因となるため注意！！

調査機関：神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・JA兵庫六甲

発行：JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

次回調査は8月9日（水）です。

☆水稻栽培日誌の記帳を行いましょ！

第4回 水稻病虫害発生予察情報

平成29年8月9日

8月9日、第4回水稻病虫害発生予察調査を実施しました。

ウンカ類、カメムシ類の害虫が増加しており、紋枯病、いもち病の発生が一部見られました。病虫害の適期防除を行いましょ。

8月1ヶ月の気温は平年より高い見込みです。紋枯病は、高温、多湿時に蔓延しますので、ほ場をよく観察し紋枯病の対策を行いましょ。

カメムシ類対策 出穂2週間前までに畦畔の草刈をしましょ！

※出穂前後の草刈りは、乳熟期にカメムシを圃場に追い込むことになるのでやめましょ。カメムシ類を誘引する本田のヒエは徹底的に除草しましょ。

出穂後5～10日頃、

スタークル粒剤 (3kg/10a) もしくは

スタークル豆つぶ (250g/10a) を散布しましょ！

カメムシ類が穂を吸汁すると斑点米となる恐れがあり、斑点米は等級落ちの原因となります。ウンカ類にも効果があります。

.....
: 粒剤と豆つぶでは、水管理が異なります。粒剤は、ひたひた水～3cm程度で散
: 布。水をためすぎた状態では薬の効果が薄まります。豆つぶは、水深3～5cm
: 程度で散布。いずれも散布後4～5日は止水を行ってくださ。

紋枯病・いもち病対策

紋枯病は株元から上位葉鞘に病斑が上がり始める頃が予防適期です！

出穂30～10日前に、**モンカット粒剤** (3～4kg/10a) を散布しましょ
いもち病・ウンカ類・カメムシ類に

収穫14日前まで**フラシンジョーカーフロアブル**
(1000倍液 60～150ℓ/10a) を散布しましょ

出穂前後の水管理

- ・中干し後は、間断灌水を行い、根に酸素を供給しましょ！
- ・出穂前後（出穂前1週間～出穂後1週間）はたん水管理をしましょ！



早期落水は未熟粒・死米・乳白・胴割れの原因となるため注意！！！！

☆**8月25日(金)** から早期コシヒカリのカントリーの荷受けを開始しましょ。

☆**水稻栽培日誌**の記帳を行い、JA出荷の場合は、刈取り・出荷の一週間前までに各支店へご提出くださ。

.....
調査機関：神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・JA兵庫六甲

発行：JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

次回調査は8月23日(水)です。

第6回 水稲病虫害発生予察情報

平成29年9月14日

9月13日、第6回水稲病虫害発生予察調査を実施しました。調査では、紋枯病の発生が見られました。病斑が上位に広がっているほ場もあります。可能なほ場については、防除を行いましょ。また、内穎褐変病が一部ほ場で発生していました。

今後の台風18号の影響により、米の品質低下が懸念されますが、被害を最小限にするための出来る限りの対策をお願い致します。

【紋枯病対策】 病斑が、株元から上位葉に上がり始めると収量や品質が低下します。

バリダシン液剤 収穫14日前までに散布(500~1000倍液 60~150ℓ/10a)

~次年度に向けて~

- ・紋枯病の主な伝染源は、前年発病した稲株に作られた菌核です
- ・菌核は土の中で越冬し、代かき時に水面に浮き上がり、稲株へ感染します。
- ・今年発生のほ場は来度も発生します。年内に稲株をすき込み越冬菌を減らしましょう。
- ・来年、密植、肥料の過用などは避け、紋枯れ病に効果のある箱施用剤等で防除しましょう。

【水管理】 早期落水をせず、落水までは間断かん水に努めましょう。

- ・落水は、圃場の乾燥状況に注意して刈取り7日前を目安に行ってください。
- ・早期落水は、粒張りを悪くし、乳白米や腹白米の発生など、米の品質を悪くします。

【適期刈取りを!】 刈取り適期は、85%以上のもみが黄化する頃です。

- ・今年は高温の日が続いたため、刈取り適期が早くなる傾向にあります。
- ・圃場状態、稲の状態をよく確認し、適期の刈取りに努めましょう!

【10月のカントリー荷受け】

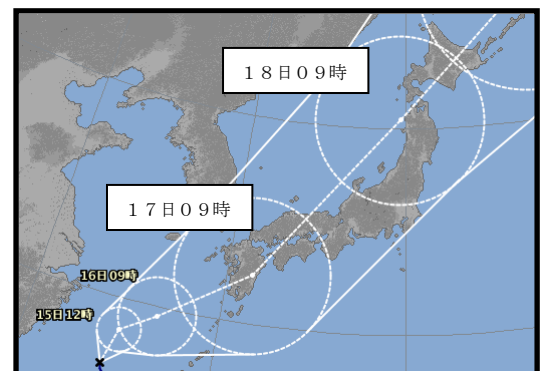
きぬむすめ	10月 1日(日) ~ 10月18日(水)
あきだわら	10月 1日(土) ~ 10月15日(日)
ヒノヒカリ	10月11日(水) ~ 10月31日(日)
飼料用あきだわら	10月19日(木) ~ 10月29日(日)



※10月2日(月) 10日(火) 16日(月) 23日(月) 30日(月) は荷受け休業日となります。

【台風対策】

- ・事前に排水路の詰まり等の点検・補修を行い、排水対策を行いましょ!
- ・冠水したら、速やかに通常の水深まで水を落としましょ。
- ・いもち病、白葉枯病等の発生状況に注意し、早めの防除を実施しましょ。



(9月14日12時 進路予想)

☆水稲栽培日誌の記帳を必ず行い、刈取り・出荷の一週間前までにJAの各支店までご提出ください。

調査機関：神戸市西農業振興センター・神戸農業改良普及センター・JA兵庫六甲

発行：JA兵庫六甲神戸西営農総合センター